

令和5年度シラバス

教科名	保健体育	科目名	体育(1～3年)	(単位数)	1・2年(3) 3年(2)
科目の目標	①生涯体育・スポーツを目指し、運動の楽しさや喜びを味わうことが出来るようにする。 ②公正・協力・責任などの態度を身につけさせる。 ③心身の健康や安全に関心を持たせる。				
学習の展開					
	単元または項目	学習のねらい		主な学習活動(教材等)	
学 期	・オリエンテーション ・集団行動 ・体づくり運動 ・新体カテスト ・体育理論 ・球技選択 バスケット・ハンドボール サッカー・バレーボール バドミントン・ ソフトボール ・水泳	・自主的に取り組む姿勢 ・生涯を通して健康について正しい理解 ・運動の合理的実践を通しての体力の向上 ・自己の課題達成と実践力の向上 ・自分の体力の理解に役立てる ・集団での団結力や達成感 ・自己の体力や目標に応じ、速く・長く泳いだりすることを目指し、各泳法の技能を高め、泳ぎの喜びや楽しみを味わう。		・体育学習の意義、内容、評価、施設、その他の注意事項の理解 ・集団の主な行動様式、表現力、相互の関係を身に付ける(機敏・的確に行動する) ・集団での約束やきまりを守って行動する(安全に留意して行動する) ・新体カテスト(8種目)の測定 ・競技の特性、ルール・審判法の理解。技術(個人・集団)の習得・ゲーム ・泳法 クロール、平泳ぎ、背泳ぎなど ・応急手当・心肺蘇生法	
	・オリエンテーション ・ダンス ・球技選択 バスケット・ハンドボール サッカー・バレーボール バドミントン ソフトボール ・陸上競技	・自主的に取り組む姿勢 ・生涯を通して健康について正しい理解 ・技を高め、伝統的な行動の仕方などの理解 ・運動の合理的実践を通しての体力の向上 ・集団での団結力や達成感 ・自己の課題達成と実践力の向上		・目標、評価、施設、その他の注意事項の説明 ・競技の特性、ルール・審判法の理解。基本動作・技術(個人・集団)及び対人的技能・発表 ・競技の特性、ルール・審判法の理解。技術(個人・集団)の習得・ゲーム ・走り方を考え、自己の能力に応じて課題を設定し記録を縮める。	
	・オリエンテーション ・球技選択 バスケット バレーボール ソフトボール ハンドボール 卓球・テニス	・自主的に取り組む姿勢 ・生涯を通して健康について正しい理解 ・運動の合理的実践を通しての体力の向上 ・自己の課題達成と自己教育力の向上		・目標、評価、施設、その他の注意事項の説明 ・競技の特性、ルール・審判法の理解。技術(個人・集団)の習得・ゲーム	
評価の観点	「意欲・関心・態度」「技術」「思考・判断」「知識・理解」「出席状況」等を通して総合的に評価。				

令和5年度シラバス

教科名	保健体育	科目	保 健(1年)	単位数	1
科目の目標	・個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身に付けるようにする。 ・健康について自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに技能を身に付けるようにする。				
学習の展開<年間指導計画の概要>					
	単元または項目	学習のねらい			主な学習活動(教材等)
1 学 期	オリエンテーション 1. 健康の成り立ちと考え方 2. 私たちの健康のすがた 3. 生活習慣の予防と回復 4. がんの原因と予防 5. がんの治療と回復 6. 運動と健康 7. 食事と健康 8. 休養・睡眠と健康	・現代社会の健康の成立要因や条件を理解。 ・現在のわが国の健康水準について過去や諸外国との比較し、健康問題の変化について理解する。 ・運動、食事、休養及び睡眠の調和のとれた生活の実践や疾病の早期発見、及び社会的な対策が必要であることを理解する。 ・健康的な生活習慣によってがんになるリスクは下げることがあることを理解する。 ・手術療法、化学療法、放射線療法などの治療法があること、患者や周囲の人々生活の質を保つことや緩和ケアが重要であることについて理解する ・運動が健康に及ぼす影響と、健康によい運動のおこない方について理解する。 ・健康にとっての食事の意味について理解する。 ・健康と休養の関係及び適切な休養の取り方について理解できる。			・板書・ノート整理 ・視聴覚教材の利用 ・各項目の資料の利用 ・定期考査
2 学 期	9. 喫煙と健康 10. 飲酒と健康 11. 薬物乱用と健康 12. 精神疾患の特徴 13. 精神疾患の予防 14. 精神疾患からの回復 15. 現代の感染症 16. 感染症の予防 17. 性感染症・エイズとその予防 18. 健康に関する意思決定・行動選択	・喫煙がどのような問題をおこすか。個人と社会の対策について理解する。 ・飲酒がどのような問題をおこすか。個人や社会環境への対策について理解する。 ・薬物乱用がどのような問題をおこすか。個人や社会環境への対策について理解する。 ・精神疾患の発病の要因とおもな症状について理解する。 ・精神疾患の予防する方法について理解する。 ・精神疾患の治療や回復のためには、どのような社会環境が必要か理解する。 ・感染症について潜伏期間や感染力なども含めて理解する。 ・感染症の予防対策について3原則を学び、個人と社会の対策について理解する。 ・エイズの実態について日本と世界の状況を把握し感染症防止の為に自分や社会ができる事を理解する。 ・健康に関する意思決定。行動選択には何が必要かを理解する。			・板書・ノート整理 ・視聴覚教材の利用 ・各項目の資料の利用 ・定期考査

3 学 期	19. 健康に関する環境づくり	・社会環境の健康への影響について学び、ヘルスプロモーションの考え方にもとづく環境づくりについて理解する	・板書・ノート整理 ・視聴覚教材の利用 ・各項目の資料の利用
	20. 事故の現状と発生要因	・交通事故の特徴・交通事故に関する要因について理解する。	・定期考査
	21. 安全な社会の形成	・安全のために必要な個人の行動について学び、安全を確保するための環境整備について理解する。	
	22. 交通における安全	・交通事故防止における個人の取り組みと、交通事故における責任を理解する。	
	23. 応急手当の意義とその基本	・応急手当について適切な連絡・通報や運搬を含め応急手当の意義・手順を理解する。	
評価の観点	「関心・意欲・態度」「思考・判断」「知識理解」「出席状況」「提出課題」「定期考査」等を総合的に判断して評価。		

令和5年度シラバス

教科名	保健体育	科目	保健(1年)	単位数	1
科目の目標	<ul style="list-style-type: none"> ・心身の健康や安全に関心を持ち、意欲的に自ら健康で安全な生活を実践できること。 ・健康、安全の意義を理解するとともに解決に役立つ基礎的事項を理解し、知識を身につけること。 ・心身の健康や安全に関する課題を見つける事ができ、課題の解決を目指して科学的に考えたり多角的にとらえることにより、適切な意志決定や行動選択ができること。 				
学習の展開(年間指導計画の概要)					
	単元または項目	学習のねらい			主な学習活動(教材等)
1 学 期	オリエンテーション III. 生涯を通じる健康 1. ライフステージと健康 2. 思春期と健康 3. 性意識と性行動の選択 4. 妊娠・出産と健康 5. 避妊法と人工妊娠中絶 6. 結婚生活と健康 7. 中高年期と健康	<ul style="list-style-type: none"> ・ライフステージと健康の関連について理解する。 ・思春期における体の変化と心の発達に関わる健康課題を理解する。 ・性意識の男女差と性情報が性行動の選択に及ぼす影響を理解する。 ・妊娠・出産の過程における健康課題と妊娠・出産期に活用できる母子保健サービスを理解する。 ・家族計画の意義と適切な避妊法及び人工妊娠中絶が女性の心身に及ぼす影響を理解する。 ・心身の発達と結婚生活の関係及び健康的な結婚生活のために必要な考え方、行動を理解する。 ・加齢に伴う心身の変化と中高年期を健やかに過ごすための社会的取り組みを理解する。 			<ul style="list-style-type: none"> ・板書・ノート整理 ・視聴覚教材の利用 ・各項目の資料の利用 ・定期考査
2 学 期	8. 働くことと健康 9. 労働災害と健康 10. 健康的な職業生活 IV. 健康を支える環境づくり 1. 大気汚染と健康 2. 水質汚濁、土壌汚染と健康 3. 環境と健康にかかわる対策 4. ごみの処理と上下水道整備 5. 食品の安全性 6. 食品衛生にかかわる活動	<ul style="list-style-type: none"> ・働く人の健康問題の変化と労働災害の防ぎ方について理解する。 ・職場が行う健康増進対策について理解し、余暇の大切さと活用の仕方について考える。 ・大気汚染の原因と健康影響及び地球規模の環境問題について理解する。 ・水質汚濁、土壌汚染の原因と健康影響を理解する。 ・今日の環境汚染の特徴と汚染防止取り組みを理解する。 ・ゴミ処理の現状や課題及び安全で良質の水を確保するためのしくみと課題を理解する。 ・行政や生産・製造者による食品安全対策について理解し、消費者が行うべきことを考える。 			<ul style="list-style-type: none"> ・板書・ノート整理 ・視聴覚教材の利用 ・各項目の資料の利用 ・定期考査
3 学 期	7. 保健サービスとその活用 8. 医療サービスとその活用 9. 医薬品の制度とその活用 10. さまざまな保健活動や対策 11. 健康に関するかんきょうづくりと社会参加	<ul style="list-style-type: none"> ・保健行政の役割と保健サービスの活用方法を理解する。 ・さまざまな医療機関の役割と医療サービスを受ける際の留意点を理解する。 ・医薬品の正しい使用法と医薬品の安全性を守る取り組みについて理解する。 ・民間機関・国際機関などの保健活動や対策について理解する。 ・健康の保持増進のための環境づくりについて理解する。 			<ul style="list-style-type: none"> ・板書・ノート整理 ・視聴覚教材の利用 ・各項目の資料の利用 ・定期考査
評価の観点	「関心・意欲・態度」「思考・判断」「知識理解」「出席状況」「提出課題」「定期考査」等を総合的に判断して評価。				

令和5年度シラバス

教科名	保健体育	科目名	選択(3年)	(単位数)	3年(2)
科目の目標	①スポーツやレクリエーション運動の合理的、計画的な実践を通して、知識を深める ②生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続する資質や能力を育てる ③健康・安全を確保し、明るく豊かで活力ある生活を継続していく態度を育てる。 ④グループごとに授業計画を立て授業を運営することにより企画力・実践力を高める				
学習の展開					
	単元または項目	学習のねらい	主な学習活動(教材等)		
1 学 期	・オリエンテーション ・教師による模範授業 ・各グループでの 授業計画 ・球技選択 バスケット・バドミントン バレー・卓球・テニス サッカー・ソフトボール ほか	・自主的に取り組む姿勢 ・企画・運営の方法を学習する ・授業を運営することにより企画力・実践力を高める ・生涯にわたりスポーツライフを継続する資質や能力を育てる ・集団での団結力や達成感	・体育学習の意義、内容、評価、施設、その他の注意事項の理解 ・授業計画の立案とフィードバック(教師との連携) ・集団の主な行動様式、表現力、相互の関係を身に付ける(機敏・的確に行動する) ・集団での約束やきまりを守って行動する(安全に留意して行動する) ・競技の特性、ルール・審判法の理解。 技術(個人・集団)の修得・ゲーム		
2 学 期	・太鼓演舞等	・行事に向けての取り組み ・生徒自ら演目の決定と取り組みを企画実践する資質、能力を育てる	・発表に向けて、大集団としての取り組み 発表する演目の決定 リーダー 練習方法の決定 取り組み ・本番での発表(体育祭)		
3 学 期	・球技選択 バスケット・バドミントン バレー・卓球・テニス サッカー・ソフトボール ほか	・自主的に取り組む姿勢 ・企画・運営の方法を学習する ・授業を運営することにより企画力・実践力を高める ・生涯にわたりスポーツライフを継続する資質や能力を育てる ・集団での団結力や達成感	・体育学習の意義、内容、評価、施設、その他の注意事項の理解 ・授業計画の立案とフィードバック(教師との連携) ・集団の主な行動様式、表現力、相互の関係を身に付ける(機敏・的確に行動する) ・集団での約束やきまりを守って行動する(安全に留意して行動する) ・競技の特性、ルール・審判法の理解。 技術(個人・集団)の習得・ゲーム		
評価の観点	「意欲・関心・態度」「技術」「思考・判断」「知識・理解」「出席状況」等を通して総合的に評価。				